

2006.8.7 江崎美枝子

## 外環埼玉区間の現状

国土交通省と東京都は、「これまでの検討を踏まえ、外環の整備による首都圏の交通渋滞や環境の改善、経済効果、都市再生に果たす役割等から、沿線地域をはじめ首都圏全体として、外環の必要性は高いと判断」されましたが、疑問が多々あり、引き続き意見交換させていただきました。しかしながら、納得がいくような回答は得られず、過去の事例も検証することなく事業が進められようとしています。

そこで改めて、外環埼玉区間の現状を調べてみました。外環整備と同時期に、交通手段変更や物流施設立地といった誘発交通で走行量が増加していますが、経済状況が良いとはいえ、大気汚染や犯罪増加で生活環境が悪化しています。

外環整備によって本当に渋滞緩和・環境改善・経済効果があるのか更に疑問が増しました。外環事業の効果と影響を冷静に分析し、地球温暖化、少子高齢化、財政悪化の中で、今後の社会に何を残すべきか、引き続き構想段階での検討が必要です。

### 1. SPM全国ワースト10に埼玉県が6ヶ所、内2ヶ所は外環沿道

SPMの自排局全国ワースト10に、埼玉県が6ヶ所、その内外環沿道が2ヶ所、美女木JCTに近い自排局を含めれば3ヶ所入っています(2004年度)。全国2位の戸田美女木自排局、4位の和光新倉自排局、7位の草加原町自排局、9位の鳩ヶ谷三ツ和自排局や、JCT・IC周辺を歩いてきました。遮音壁や緑があっても大気状態が悪いこと、JCTの巨大さ、車の多さに驚きました。

#### (1) 全国ワースト4位の和光新倉自排局とその周辺



#### (2) 全国ワースト7位の草加原町自排局とその周辺



(3) 美女木JCTと左手前が全国2位の自排局

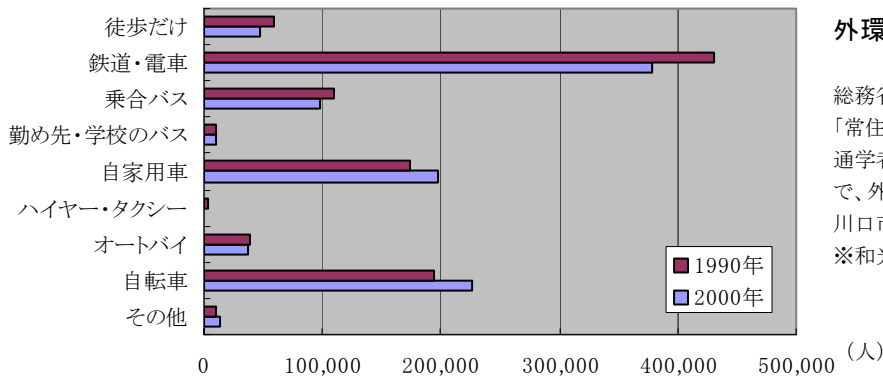


(4) 巨大な川口JCT(米粒のように見えるのは車)



## 2. 公共交通機関から自家用車へ手段変更

外環沿線地域の通勤・通学に利用する交通手段が、開通前後でどのように変化したか調べてみました。単に自家用車が増加しているだけでなく、徒歩・鉄道・電車・バスが減少しており、誘発交通の一種である「手段変更」が起きているようです。

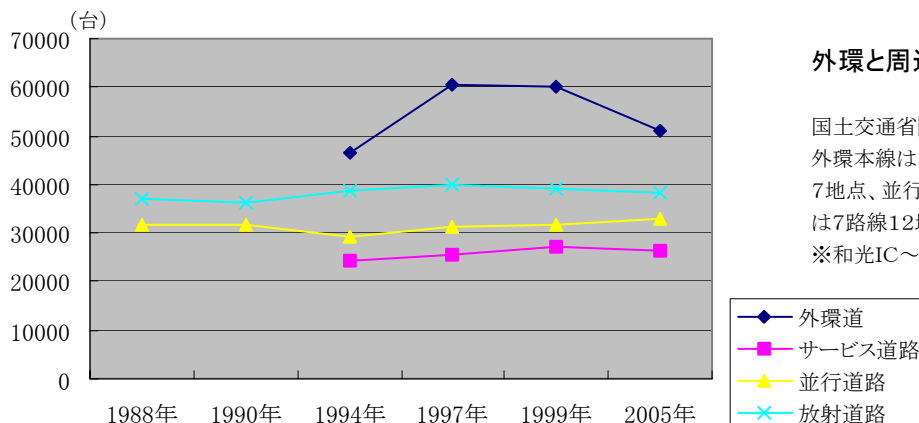


外環整備前後の交通手段変化

総務省統計局『国勢調査報告』より作成  
「常住地による15歳以上自宅外就業者・通学者数」の9区分(1990年は10区分)で、外環沿線の三郷市・八潮市・草加市・川口市・浦和市・戸田市・和光市を合計  
※和光IC～三郷JCTは1992年開通

## 3. 外環本線は減少、並行する無料道路は増加

昨年の交通量調査結果を加え、改めて外環と周辺道路の交通量を調べてみました。外環本線は減少していますが、環状七号線など並行する無料の一般道で交通量が増加しています。便利になって車利用が増えたものの、不景気のため無料道路を使っているのでしょうか。



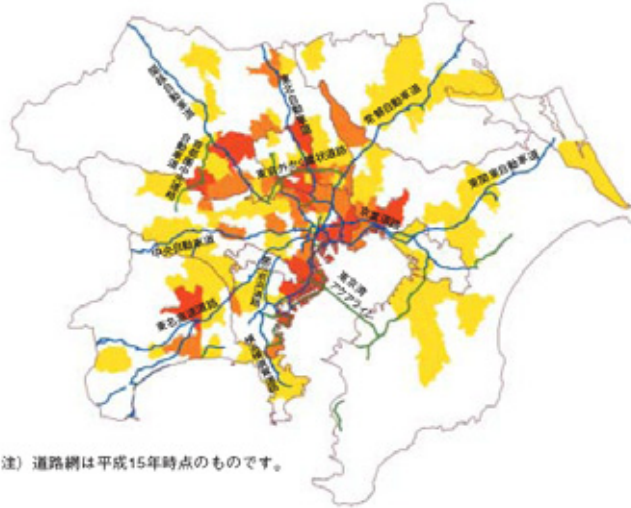
外環と周辺道路の交通量変化

国土交通省『道路交通センサス』より作成  
外環本線は14地点、サービス道路は298号の7地点、並行道路は8路線23地点、放射道路は7路線12地点の平均  
※和光IC～三郷JCTは1992年開通

## 4. 物流施設が新たに立地

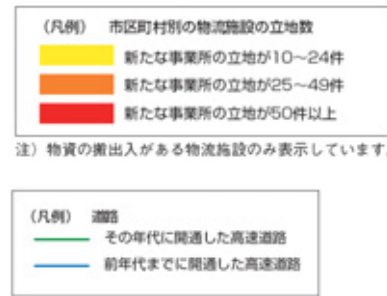
外環沿道を歩いていて、外環と交差する道路やサービス道路の298号にトラックが多いことが気になりました。政策的誘導もあり、外環はじめ高速道路近傍には物流施設が新たに立地しています。誘発交通の一つである「立地変更」が起きているようです。

### ■ 1990年以降に立地したエリア



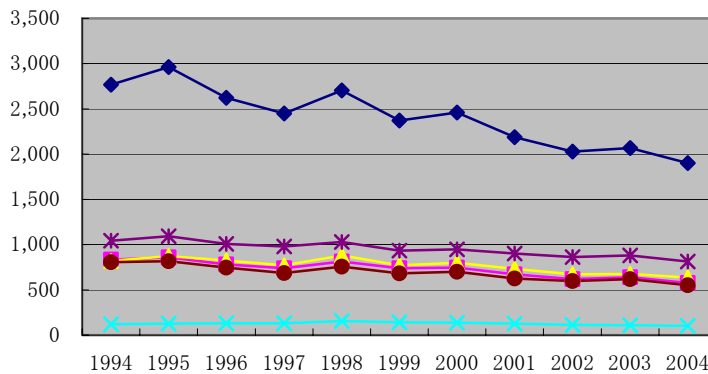
### 開設年代別にみた物流施設の立地状況

出典：東京都市圏交通計画協議会『東京としげん交通だより』特別号 vol.18



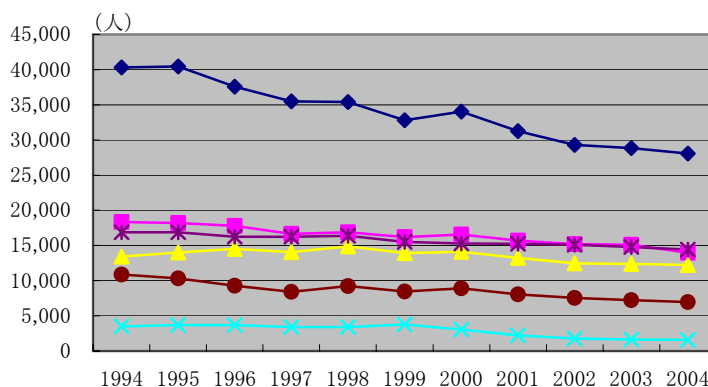
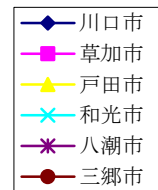
## 5. 工業は縮小

外環整備による経済効果を期待する声をよく聞きますが、埼玉県全体でみても、外環沿線地域でみても、経済状態はあまり良くないようです。



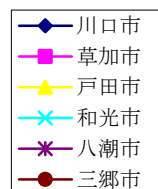
### 外環沿線地域の事業所数変化

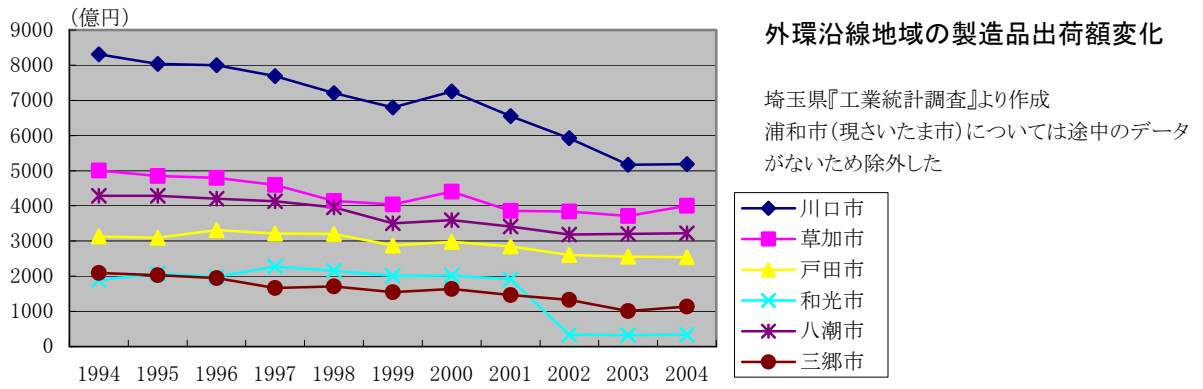
埼玉県『工業統計調査』より作成  
浦和市(現さいたま市)については途中のデータがないため除外した



### 外環沿線地域の従業者数変化

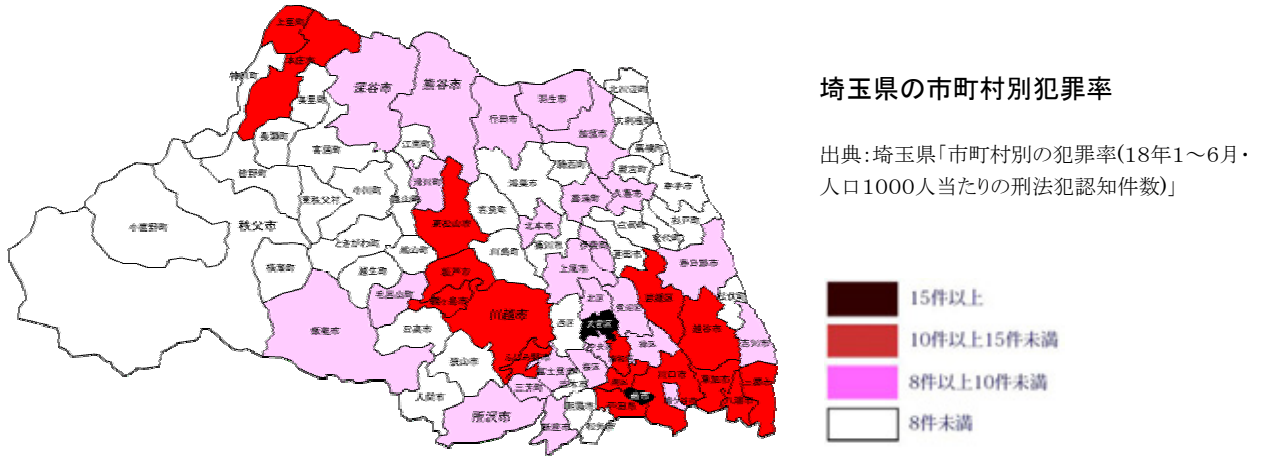
埼玉県『工業統計調査』より作成  
浦和市(現さいたま市)については途中のデータがないため除外した





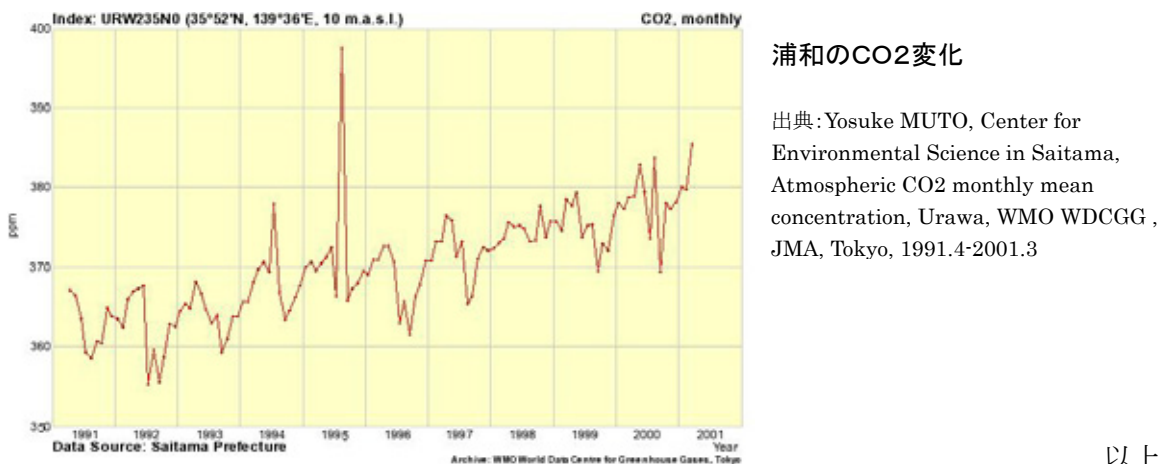
## 6. 犯罪数は全国ワースト3位、外環沿線地域が多い

埼玉県は刑法犯認知件数が増加傾向にあり、大阪府、愛知県に次いで全国ワースト3位です(人口1000人当たり、2004年)。特に外環沿線地域が多いことがわかります。



## 7. CO2が増加

三環状九放射の道路整備をすると、誘発交通で地球温暖化が進むのではないかと指摘がありますが、現実には、外環に近い浦和でもCO2が増加しています。



以上